

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【公開番号】特開2002-241331(P2002-241331A)

【公開日】平成14年8月28日(2002.8.28)

【出願番号】特願2001-42600(P2001-42600)

【国際特許分類第7版】

C 07 C 37/20

C 07 C 39/16

// C 07 B 61/00

【F I】

C 07 C 37/20

C 07 C 39/16

C 07 B 61/00 300

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

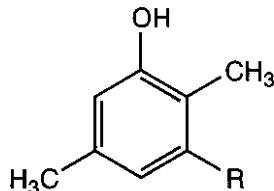
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

有機溶媒と酸触媒の存在下に一般式(I)

【化1】

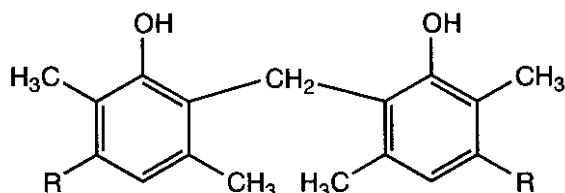


(I)

(式中、Rは炭素数1~3のアルキル基を示す。)

で表されるアルキルフェノール類とホルムアルデヒドとをアルキルフェノール類/ホルムアルデヒドモル比2.1~6にて、70℃から還流温度の範囲の温度にて、少なくとも10時間反応させることを特徴とする一般式(II)

【化2】



(II)

(式中、Rは上記と同じである。)

で表される2,2'-メチレンビス(アルキルフェノール)類の製造方法。

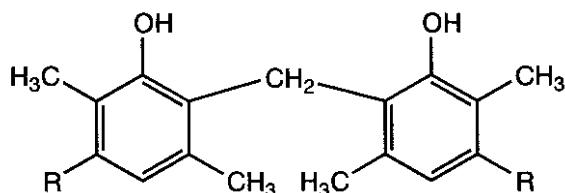
【請求項2】

80～85の範囲の温度で反応させる請求項1に記載の方法。

【請求項3】

一般式(II)

【化3】



(II)

(式中、Rは炭素数1～3のアルキル基を示す。)

で表される2,2'-メチレンビス(アルキルフェノール)類の製造方法において、ヒドロキシル基に対してp-p位及びo-p位でメチレン結合したp-p異性体及びo-p異性体を有機溶媒と酸触媒の存在下に反応させて、それぞれo-o異性体に転化させることを特徴とする方法。

【請求項4】

70から還流温度の範囲の温度で反応させる請求項3に記載の方法。

【請求項5】

80～85の範囲の温度で反応させる請求項3に記載の方法。